

リバイブ
いしのまき

石巻市街地にお住まいの皆さまに復興事業の情報を届けるため
2016年9月15日に創刊しました。

Vol.08 6月号
2018年6月15日発行

発行：石巻市街地復興工事調整会議調整事務局
(国交省北上川下流河川事務所・宮城県東部土木事務所・石巻市)
連絡先：石巻市復興事業部基盤整備課
☎0225-95-1111
(内線) 5517・5518

特集

旧北上川の「堤防」と「橋」

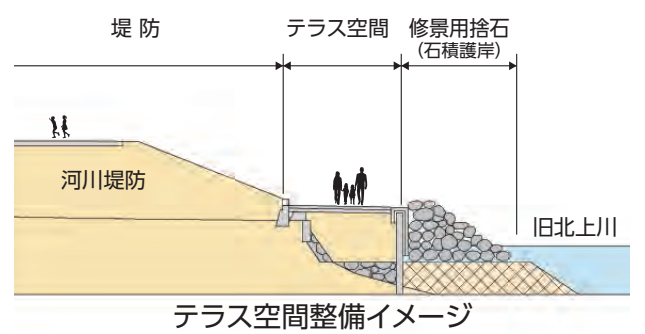
堤防整備 にぎわいと安らぎの水辺空間の創造

洪水、津波、高潮から石巻市街地を守る目的で河間に
かつては、平成30年3月
末現在で、計画の約4割が



堤防凡例

- 完成区間
- 工事中区間



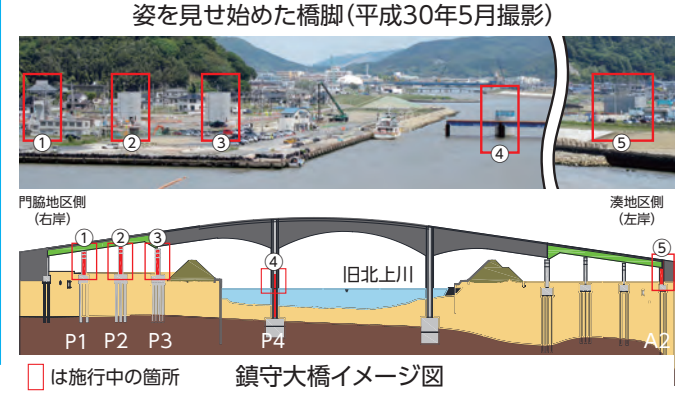
完成しています。
堤防整備にあたっては、
テラスや石積み護岸をあ

わせて整備し、にぎわいと安らぎの水辺空間を新たに創出します。旧北上川沿岸には石巻市街地を一望できる日和山、石巻の地名の由来となった巻石や新たなスポットとなる中央地区かわまちづくり、河口部に整備が進められている石巻南浜津波復興祈念公園など見どころがたくさんあり、堤防とテラスを整備したことにより石巻をはぐくんだ旧北上川の水面を身近に感じながらの散策ができます。

梁橋整備 (仮称)鎮守大橋

右岸側橋脚工事進む

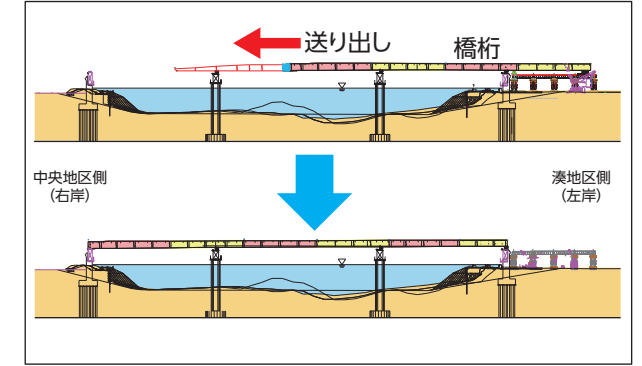
「(仮称)鎮守大橋」は、日和大橋の約500m上流で門脇地区と湊地区をつなぎます。平時は市民生活や産業用に活用、災害時には避難路や緊急輸送路の役目を果たします。片側1車線で、上流側に3.5mの歩道を設置します。現在、8つの橋脚のうち、門脇地区側(右岸)の4つの橋脚と湊地区側(左岸)の橋脚が施工中です。(下図参照)



姿を見せ始めた橋脚(平成30年5月撮影)

石巻市の復興、再生においては、旧北上川の水辺に市民や市外から訪れた方々が集い、にぎわいと交流がさらに活発になるよう堤防整備とまちづくりが一体となり事業を進めます。

(仮称)新内海橋 5月橋桁が対岸に到達



送り出し工法イメージ図

片側1車線の両側歩道で、現内海橋の上流に整備します。橋桁を架けるには橋桁を送り出して対岸に到達させる工法を採用。平成30年5月に橋桁が中央地区側(右岸)に到達しました。今後は橋の上部や橋に接続する道路の工事を進めます。また、中瀬には(仮称)新西内海橋と(仮称)新東内海橋を整備します。